

書 問 諮



帯教給第104号
平成22年7月13日

帯広市学校給食共同調理場運営委員会
会長 板谷裕康 様

帯広市教育委員会
教育長 八 鍬 祐 子
(学校給食共同調理場)



学校給食調理場のあり方について (諮問)

帯広市では、昭和57年に現在の学校給食共同調理場を建設し、全国有数の処理機能を有するセンター方式により、小中学校の完全給食を学校教育の一環として、その提供に努めてまいりました。

しかし、現在の施設が老朽化しており、子どもたちの健やかな成長に必要な安全・安心な給食を提供していくためにも、早急な改築が必要となっています。

このため、安心な給食の提供をはじめとして、食物アレルギーへの対応、更には食育を推進していくために、以下の項目について諮問をいたしますので、さまざまな角度から、学校給食調理場のあり方について、ご審議のうえ、ご提言を賜りますようお願いいたします。

記

1. 安全・安心でおいしい給食の提供について
2. 食物アレルギーの対応について
3. 食育の推進と施設機能について
4. 学校給食調理場の設置方式について

以上